



報道発表

平成 27 年 9 月 18 日
東 京 税 関

健康・安全を脅かす物品の差止めが増加

～平成 27 年上半期の東京税関における知的財産侵害物品の差止状況～

平成 27 年上半期（平成 27 年 1 月～6 月）の東京税関における偽ブランド品等の知的財産侵害物品の差止状況は、次のとおりです。

1. 1 日平均 25 件、720 点を差止め

- ・ 輸入差止件数は 4,622 件（前年同期比 6.8%減）で、輸入差止点数は 131,057 点（前年同期比 7.2%減）でした。
- ・ 1 日平均で約 25 件、約 720 点の知的財産侵害物品を差し止めていることになります。

2. 中国来が依然として高い水準

- ・ 中国来の知的財産侵害物品の差止件数は 4,104 件（前年同期比 8.3%減、構成比 88.8%）、差止点数は 110,382 点（前年同期比 5.4%減、構成比 84.2%）。件数ベースで中国は平成 19 年以降、最大の仕出国となっており、仕出国別の構成比で約 9 割を占め、依然として高い水準が続いています。

3. 健康・安全を脅かす物品の差止めが増加

- ・ 消費者の健康・安全を脅かす知的財産侵害物品（医薬品、化粧品、抱っこ紐（ベビーキャリア）、運動・健康器具、自動車用部品、バッテリー等）の差止件数が増加傾向にあります。

【お問い合わせ先】

東京税関 税関広報広聴室

TEL 03-3599-6264 FAX 03-3599-6442

平成27年上半期の知的財産侵害物品の差止状況（詳細）

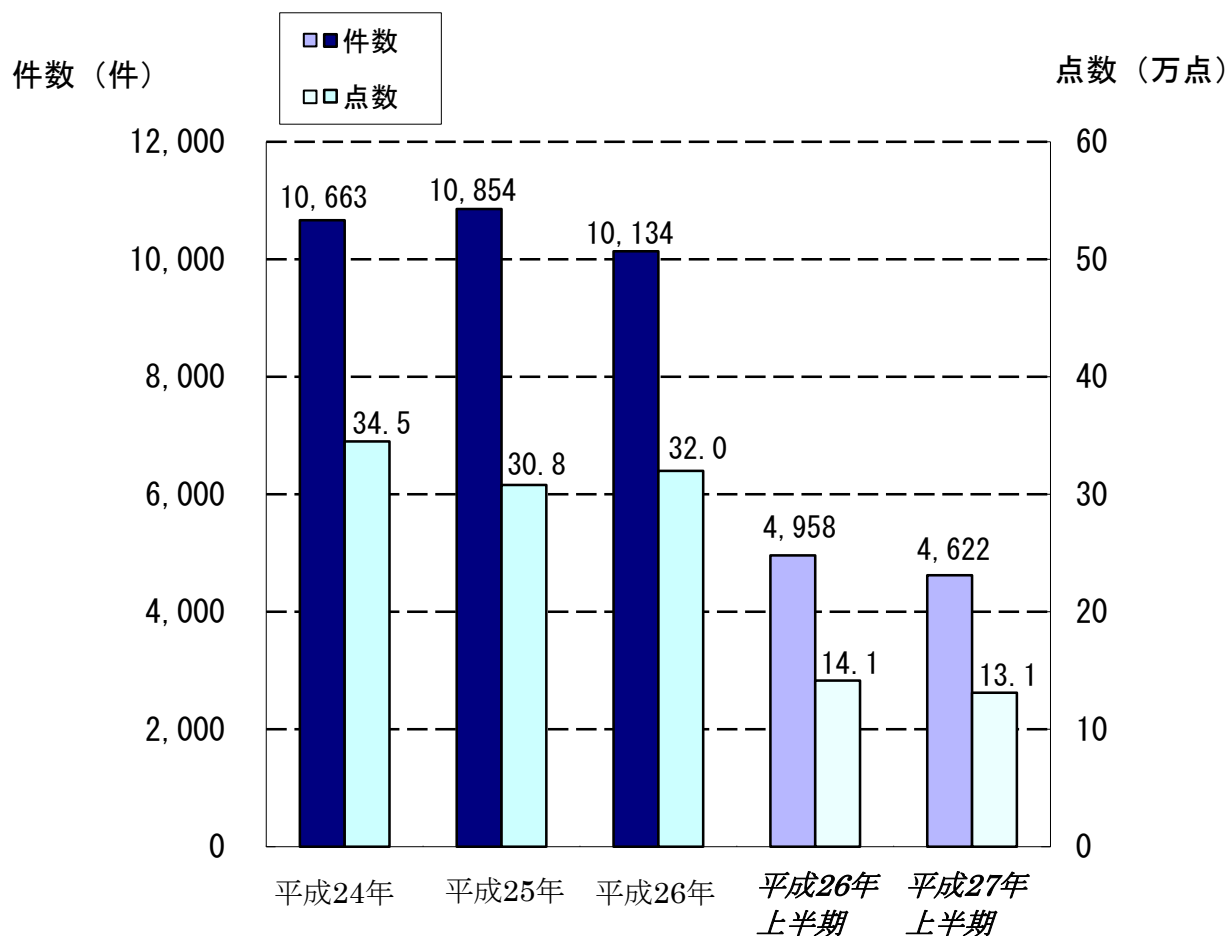
- 輸入差止件数は4,622件で、前年同期比で6.8%減少しました。
- 輸入差止点数は131,057点で、前年同期比で7.2%減少しました。
- 1日平均でみると約25件、約720点の知的財産侵害物品を差し止めていることになります。

「差止件数」とは、税関が差し止めた知的財産侵害物品の輸入申告及び郵便物の数です。

「差止点数」とは、税関が差し止めた知的財産侵害物品の数です。

例えば、1つの輸入申告において、20点の知的財産侵害物品が含まれていた場合は、1件20点として計上しています。

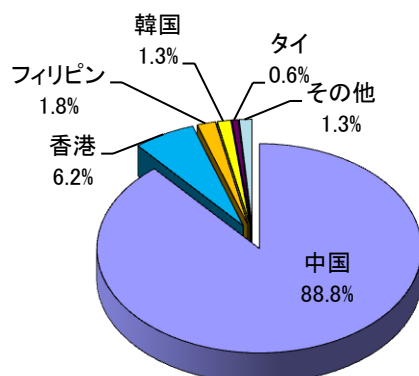
知的財産侵害物品の輸入差止実績（平成24年～平成27年上半期）



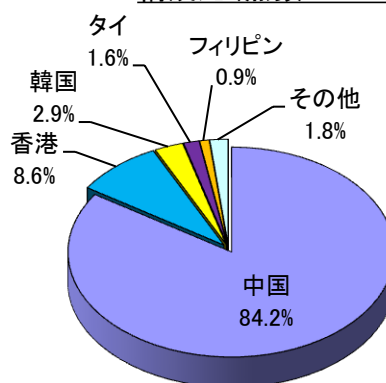
○仕出国（地域）別輸入差止実績

- 輸入差止件数は、中国来が 4,104 件（前年同期比 8.3%減、構成比 88.8）と全体の 9割弱を占めています。次いで香港来が 285 件（前年同期比 23.9%増、構成比 6.2%）、フィリピン来が 85 件（前年同期比 2.1 倍、構成比 1.8%）となりました。
- 輸入差止点数は、中国来が 110,382 点（前年同期比 5.4%減、構成比 84.2%）、次いで香港来が 11,314 点（前年同期比 16.5%減、構成比 8.6%）、韓国来が 3,737 点（前年同期比 43.9%減、構成比 2.9%）となりました。

仕出国（地域）別差止実績
構成比（件数ベース）



仕出国（地域）別差止実績
構成比（点数ベース）

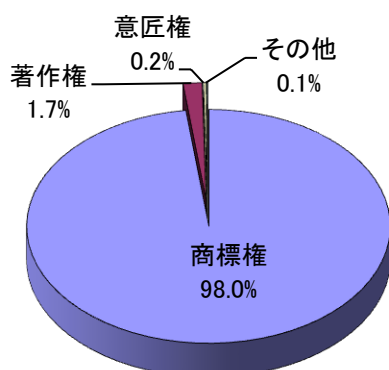


（注） 四捨五入しているため、構成比の合計が 100% とならない場合があります。

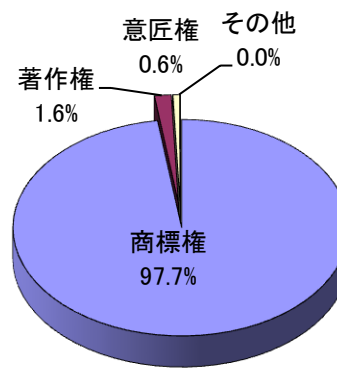
○知的財産別輸入差止実績

- 輸入差止件数は、例年同様、偽ブランドバッグ等の商標権侵害物品が 4,561 件（前年同期比 7.5%減、構成比 98.0%）で大半を占めています。次いでキャラクターグッズ等の著作権侵害物品が 78 件（前年同期比 47.2%増、構成比 1.7%）、デザインを模倣した意匠権侵害物品が 11 件（前年同期比 83.3%増、構成比 0.2%）となりました。
- 輸入差止点数は、商標権侵害物品が 128,067 点（前年同期比 15.3%増、構成比 97.7%）、次いで著作権侵害物品が 2,111 点（前年同期比 32.0%増、構成比 1.6%）、意匠権侵害物品が 851 点（前年同期比 97%減、構成比 0.6%）、となりました。

知的財産別差止実績構成比
（件数ベース）



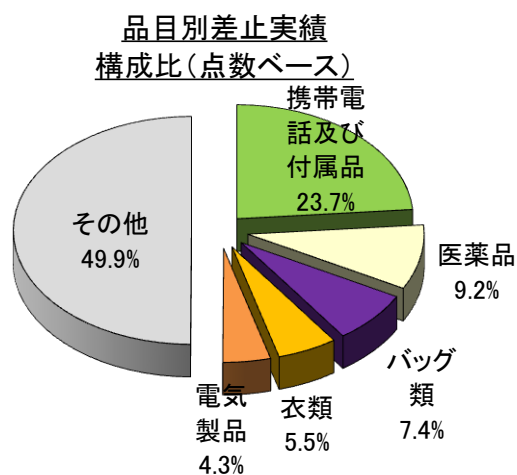
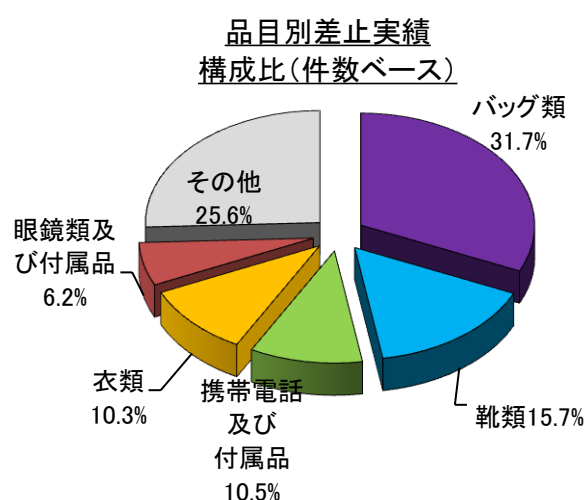
知的財産別差止実績構成比
（点数ベース）



（注） 四捨五入しているため、構成比の合計が 100% とならない場合があります。

○品目別輸入差止実績

- 輸入差止件数は、バッグ類が 1,674 件（前年同期比 19.0%減、構成比 31.7%）、靴類が 830 件（前年同期比 35.6%増、構成比 15.7%）、携帯電話及び付属品が 552 件（前年同期比 13.3%増、構成比 10.5%）、衣類が 543 件（前年同期比 60.1%減、構成比 10.3%）、眼鏡類及び付属品が 328 件（前年同期比約 3 倍、構成比 6.2%）となりました。
- 輸入差止点数は、携帯電話及び付属品が 31,056 点（前年同期比 35.2%増、構成比 23.7%）、医薬品が 12,012 点（前年同期比約 2.6 倍、構成比 9.2%）、バッグ類が 9,692 点（前年同期比 16.8%減、構成比 7.4%）、衣類が 7,198 点（前年同期比 50.5%減、構成比 5.5%）、電気製品が 5,678 点（前年同期比 5.0%増、構成比 4.3%）となりました。

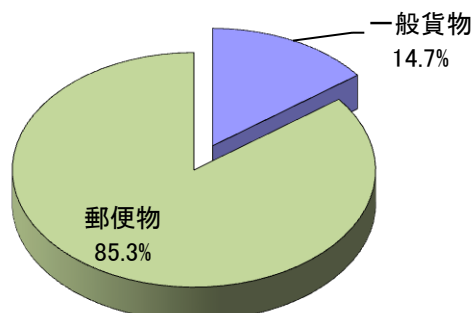


(注) 四捨五入しているため、構成比の合計が 100%とならない場合があります。

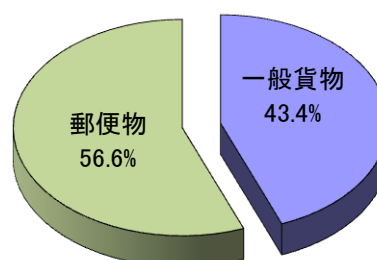
○輸送形態別輸入差止実績

- 輸入差止件数は、例年同様、郵便物が大半を占めており、郵便物が 3,942 件（構成比 85.3%）、一般貨物が 680 件（構成比 14.7%）となりました。
- 輸入差止点数は、郵便物が 74,127 点（構成比 56.6%）、一般貨物が 56,930 点（構成比 43.4%）となりました。

輸送形態別差止実績構成比
(件数ベース)



輸送形態別差止実績構成比
(点数ベース)



(注) 四捨五入しているため、構成比の合計が 100%とならない場合があります。

○消費者の健康・安全を脅かす知的財産侵害物品

- 知的財産侵害物品の中には、健康被害のおそれのある物品や使用中に事故等を起こす危険性のある物品（医薬品、化粧品、抱っこ紐（ベビーキャリア）、運動・健康器具、自動車用部品、バッテリー等）があり、平成 27 年上半期における差止件数は前年同期比で増加傾向にあります。

健康・安全を脅かす侵害物品の差止め実績の推移（平成24年～平成27年上半期）

